



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

東

上場会社名 株式会社PKSHA Technology 上場取引所
 コード番号 3993 URL <https://pkshatech.com/ja>
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)上野山 勝也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)中田 光哉 (TEL)03-6801-6718
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	3,768	239.5	411	3.1	419	7.7	245	△2.1
2019年9月期第2四半期	1,110	54.4	398	16.1	389	14.7	250	11.5

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 1,395百万円(402.1%) 2019年9月期第2四半期 277百万円(23.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	8.07	7.69
2019年9月期第2四半期	9.41	8.80

(注) 当社は、2019年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	32,314	27,104	83.9
2019年9月期	30,421	26,652	87.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 27,101百万円 2019年9月期 26,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	145.0	750	4.0	710	19.8	450	9.8	14.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年9月期2Q	30,535,600株	2019年9月期	30,430,200株
2020年9月期2Q	360,049株	2019年9月期	—株
2020年9月期2Q	30,503,933株	2019年9月期2Q	26,670,567株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「未来のソフトウェアを形にする」をミッションに掲げ、主に自然言語処理、画像認識、音声解析、機械学習/ 深層学習技術に関わるアルゴリズムソリューションを展開しております。

Mobility & MaaS事業は、Smart City化に向けてリアル空間のオペレーションを智能化させていく取り組みを行っております。画像認識に関わるアルゴリズムを活用した新たなサービス・商品等の開発ニーズを受けて、アルゴリズムソリューションおよびアルゴリズムソフトウェアを販売しております。また、IoT機器からリアル空間のデータを収集しクラウドに繋げた上で顧客への製品・サービス提供を行う取り組みの一環として駐車場機器の製造販売・駐車場運営事業を行っております。

Cloud Intelligence事業は、デジタル空間上で行われる処理を智能化させていく取り組みを行っております。アルゴリズムの活用による既存ソフトウェアの高度化・効率化や、オペレーションのソフトウェア化といったニーズに対応するアルゴリズムソリューションおよびアルゴリズムソフトウェアを提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、期中後半に新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、経済環境は先行き不透明な状況が高まりました。こうした中、当社グループは、従業員をはじめとするすべてのステークホルダーの安全・健康を考え、感染拡大防止の観点から、その多くの業務について在宅勤務を基本に事業活動を継続するとともに、特定領域におけるアルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合を目指す成長戦略のもと、優秀な人材の採用やアルゴリズムのラインアップ拡張、研究開発の加速などの先行投資には引き続き注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,768,527千円(前年同四半期比239.5%増)、営業利益は411,123千円(前年同四半期比3.1%増)、経常利益は419,576千円(前年同四半期比7.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は245,798千円(前年同四半期比2.1%減)となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

なお、従来、当社のセグメント情報における報告セグメントは「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントでありましたが、事業領域の拡大に伴い、新たな体制による経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、前連結会計年度末より、報告セグメントを従来の「アルゴリズムライセンス事業」から、「Mobility & MaaS事業」、「Cloud Intelligence事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(Mobility & MaaS事業)

Mobility & MaaS事業につきましては、株式会社アイテック(前期中に買収しましたアイドラグループ3社は、2020年1月1日付けで株式会社アイドラ及び昭立工業株式会社を消滅会社、株式会社アイテックを存続会社とする吸収合併を行っております)において駐車場機器の販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,642,623千円、セグメント利益は202,787千円となりました。

(Cloud Intelligence事業)

Cloud Intelligence事業につきましては、アルゴリズムの活用によるオペレーションのソフトウェア化を進めるニーズが堅調に拡大しております。このような環境の中、アルゴリズムライセンスの積み上げを図るとともに、自動応答エンジン「BEDORE」を中心としたアルゴリズムソフトウェアの拡販を進めました。

この結果、売上高は1,139,103千円、セグメント利益は263,062千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は32,314,988千円となり、前連結会計年度末に比べ1,893,306千円増加いたしました。流動資産は24,136,112千円(前連結会計年度末比253,359千円減)となりました。主な減少要因は、現金及び預金が407,678千円減少したことによるものであります。また、固定資産は8,113,097千円(前連結会計年度末比2,163,957千円増)となりました。主な増加要因は、投資有価証券が2,206,967千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は5,210,895千円となり、前連結会計年度末に比べ1,442,124千円増加いたしました。主な増加要因は、短期借入金が957,010千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は27,104,092千円となり、前連結会計年度末に比べ451,181千円増加いたしました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金が1,149,889千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は21,207,308千円となり、前連結会計年度末に比べ1,407,678千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は316,982千円(前年同四半期は129,589千円の増加)となりました。これは主に、売上債権の増加176,462千円、法人税等の支払額122,104千円を計上したものの、税金等調整前四半期純利益427,511千円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,644,406千円(前年同四半期は906,191千円の減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,000,000千円及び投資有価証券の取得による支出411,838千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は80,253千円(前年同四半期は22,682千円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の増加957,010千円計上したものの、自己株式の取得による支出958,924千円及び長期借入金の返済による支出90,845千円があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業は、その多くの業務についてリモートワークによる対応が可能であり、新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言による業務遂行への影響は軽微であります。一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済環境の先行き不透明感が高まっていることから、大手企業を中心とした顧客の一部の案件において受注が先送りとなるものなどが発生しておりますが、現時点で業績に与える影響は軽微であると想定していることから、2020年9月期の連結業績予想につきましては、2019年11月13日に公表した内容から変更はございません。しかしながら、経済環境の悪化が続いた場合、顧客のソフトウェア投資への意思決定に影響が生じ、短期的に当社グループの新規受注に影響が与える可能性がございます。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い様々な社会課題が発生しつつある中で、顧客企業のデジタルトランスフォーメーションに関わる需要拡大やアルゴリズムソフトウェアの新たな導入機会の増加など、当社グループを取り巻く経営環境は緩やかに改善していくものと考えております。長期的な事業拡大を視野に、アルゴリズムソフトウェアの強化とバリューチェーンの垂直統合にかかる必要な先行投資については引き続き実行してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,614,986	22,207,308
受取手形及び売掛金	887,003	1,063,465
原材料及び貯蔵品	422,621	482,109
その他	466,901	385,715
貸倒引当金	△2,040	△2,486
流動資産合計	24,389,472	24,136,112
固定資産		
有形固定資産	1,417,707	1,389,657
無形固定資産		
のれん	2,066,865	2,007,483
その他	594,916	646,575
無形固定資産合計	2,661,781	2,654,059
投資その他の資産		
投資有価証券	1,601,292	3,808,260
その他	268,357	261,120
投資その他の資産合計	1,869,650	4,069,380
固定資産合計	5,949,140	8,113,097
繰延資産	83,069	65,778
資産合計	30,421,682	32,314,988
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,915	301,108
短期借入金	—	957,010
未払法人税等	261,149	154,402
その他	732,672	828,070
流動負債合計	1,325,736	2,240,593
固定負債		
長期借入金	2,332,870	2,242,025
その他	110,164	728,277
固定負債合計	2,443,034	2,970,302
負債合計	3,768,771	5,210,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,554,220	12,560,524
資本剰余金	12,553,220	12,559,524
利益剰余金	1,537,531	1,783,329
自己株式	—	△957,010
株主資本合計	26,644,971	25,946,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,567	1,155,457
その他の包括利益累計額合計	5,567	1,155,457
新株予約権	2,371	2,266
純資産合計	26,652,911	27,104,092
負債純資産合計	30,421,682	32,314,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,110,160	3,768,527
売上原価	422,848	2,225,852
売上総利益	687,311	1,542,674
販売費及び一般管理費	288,562	1,131,551
営業利益	398,748	411,123
営業外収益		
受取家賃	—	9,626
持分法による投資利益	—	18,947
移転補償金	—	10,490
その他	1	12,220
営業外収益合計	1	51,283
営業外費用		
支払利息	150	17,195
株式交付費償却	4,250	17,291
その他	4,685	8,344
営業外費用合計	9,086	42,830
経常利益	389,663	419,576
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,002
特別利益合計	—	8,002
特別損失		
固定資産除却損	—	68
特別損失合計	—	68
税金等調整前四半期純利益	389,663	427,511
法人税、住民税及び事業税	136,778	148,142
法人税等調整額	1,916	33,569
法人税等合計	138,694	181,712
四半期純利益	250,969	245,798
親会社株主に帰属する四半期純利益	250,969	245,798

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	250,969	245,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,995	1,149,889
その他の包括利益合計	26,995	1,149,889
四半期包括利益	277,964	1,395,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	277,964	1,395,688

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	389,663	427,511
減価償却費	44,391	196,835
のれん償却額	9,329	59,381
持分法による投資損益 (△は益)	—	△18,947
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△8,002
支払利息	150	17,195
株式交付費償却	4,250	17,291
売上債権の増減額 (△は増加)	△174,208	△176,462
たな卸資産の増減額 (△は増加)	—	△64,073
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,246	△30,806
前受金の増減額 (△は減少)	△10,698	15,784
未払金の増減額 (△は減少)	47,340	12,973
その他	△7,478	2,402
小計	327,987	451,082
利息の受取額	1	112
利息の支払額	△150	△12,108
法人税等の支払額	△198,248	△122,104
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,589	316,982
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△138,694	△61,181
無形固定資産の取得による支出	△82,999	△145,908
投資有価証券の取得による支出	△619,244	△411,838
敷金の差入による支出	△19,986	△41,192
その他	△45,268	15,714
投資活動によるキャッシュ・フロー	△906,191	△1,644,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	957,010
長期借入金の返済による支出	△1,560	△90,845
株式の発行による収入	24,242	12,504
自己株式の取得による支出	—	△958,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,682	△80,253
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△753,920	△1,407,678
現金及び現金同等物の期首残高	5,365,847	22,614,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,611,927	21,207,308

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	190,012	920,147	1,110,160	—	1,110,160
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	190,012	920,147	1,110,160	—	1,110,160
セグメント利益	83,442	358,735	442,177	△43,429	398,748

(注) セグメント利益の調整額△43,429千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	Mobility & MaaS	Cloud Intelligence	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,642,623	1,125,903	3,768,527	—	3,768,527
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13,200	13,200	△13,200	—
計	2,642,623	1,139,103	3,781,727	△13,200	3,768,527
セグメント利益	202,787	263,062	465,849	△54,726	411,123

(注) セグメント利益の調整額△54,726千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社のセグメント情報における報告セグメントは「アルゴリズムライセンス事業」の単一セグメントでありましたが、事業領域の拡大に伴い、新たな体制による経営管理を充実させる観点から当社グループの経営管理手法を見直しております。その結果、前連結会計年度末より、報告セグメントを従来の「アルゴリズムライセンス事業」から、「Mobility & MaaS事業」、「Cloud Intelligence事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(資本金の減少)

当社は、2020年5月11日開催の臨時株主総会において、資本金の額の減少について決議し、2020年5月12日でその効力が発生しております。

1. 資本金の額の減少の目的

今回の資本金の額の減少は、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的とし、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

2. 資本金の額の減少の要領

(1) 減少する資本金の額

12,550,389,290円

(2) 増加するその他資本剰余金の額

12,550,389,290円

発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金へ振り替えます。